

決算説明会

2025年12月期第2四半期

ISB CORPORATION

証券コード：9702

株式会社アイ・エス・ビー

Part **1** ISBグループ概要

Part **2** 決算概要

Part **3** 中期経営計画2026の取組み

Part **4** 社会とともに成長する
ISBグループ

FINANCIAL
RESULTS
BRIEFING

Part **1** ISBグループ概要

Part **2** 決算概要

Part **3** 中期経営計画2026の取組み

Part **4** 社会とともに成長する
ISBグループ

情報サービス事業・セキュリティシステム事業を展開する

独立系システムインテグレーター



代表取締役社長
若尾 一史

社名	株式会社アイ・エス・ビー
設立	1970年（昭和45年）6月
代表取締役社長	若尾一史
資本金	24億1,024万円（2025年4月28日現在）
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：9702）
事業内容	情報サービス事業（ソフトウェア開発） セキュリティシステム事業（入退室管理）
従業員数（連結）	2,620名（2024年12月31日現在）
グループ会社	連結子会社：国内7社、海外1社

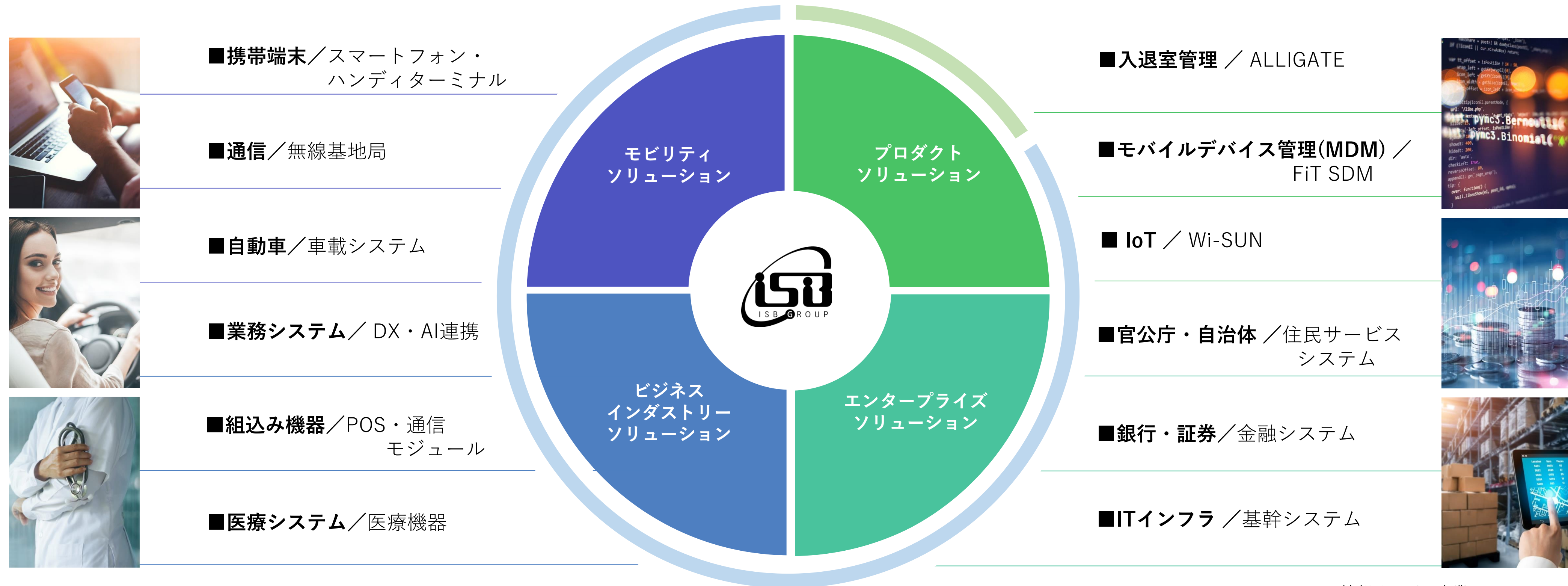
ISBグループの事業領域

ISB GROUP

ISBで開発したソフトウェアはさまざまな製品に搭載され、安全・快適・便利な社会を支えています。



時代の変化に適応した知恵とITの融合と高い技術力を強みに、さまざまな事業領域を手掛けています。



agenda

FINANCIAL
RESULTS
BRIEFING

Part **1** ISBグループ概要

Part **2** 決算概要

Part **3** 中期経営計画2026の取組み

Part **4** 社会とともに成長する
ISBグループ

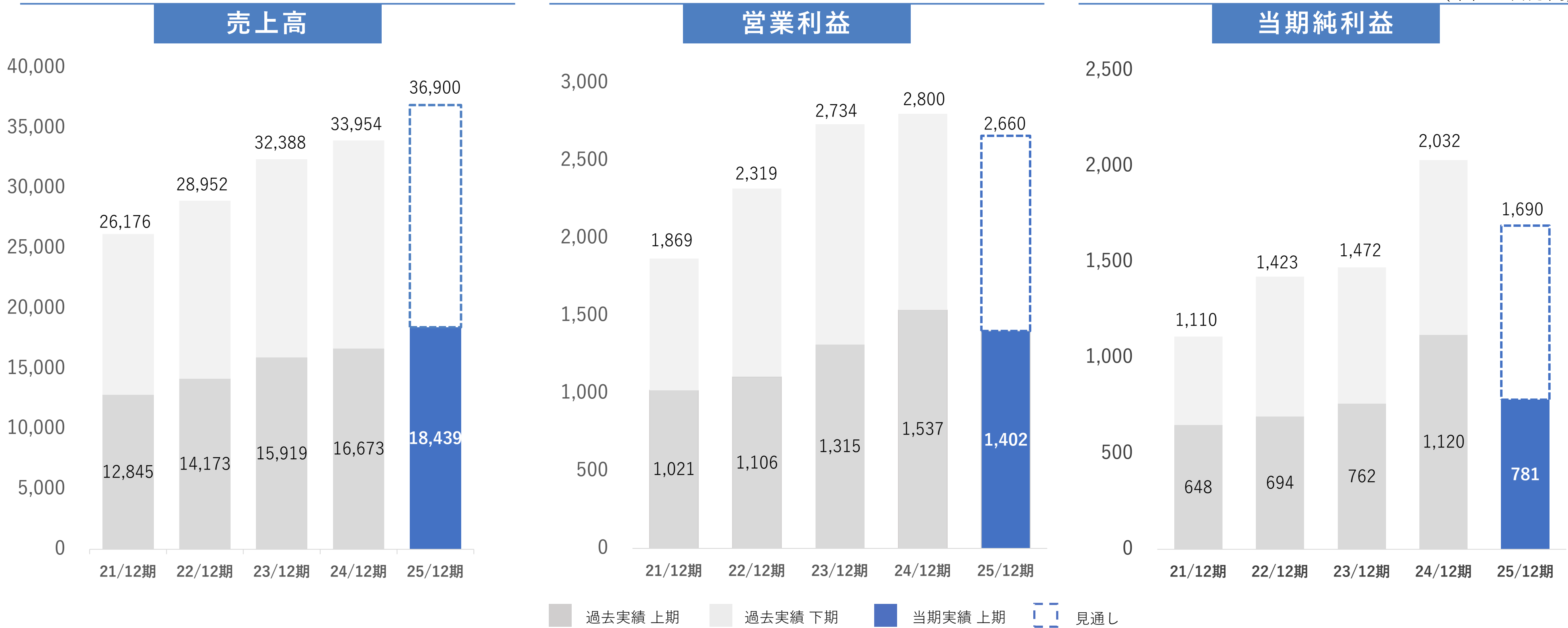
2Q業績計画を超過達成、前年同期比では増収減益

(単位：百万円)

	2024年 2Q実績	2025年 2Q実績	増減	前年同期比	2025年 2Q計画	計画比
》売上高	16,673	18,439	1,766	111%	17,700	104%
》営業利益	1,537	1,402	▲135	91%	950	148%
》営業利益率	9.2%	7.6%	▲1.6pt	-	5.4%	+ 2.2pt
》経常利益	1,569	1,420	▲149	91%	980	145%
》親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,120	781	▲339	70%	670	117%
》1株当たり 四半期(当期)純利益(単位：円)	98.04	68.29	▲29.75	70%	58.60	117%

重点戦略、成長投資を着実に実行し、持続的成長を目指す

(単位：百万円)



2Q(4~6月)連結損益計算書

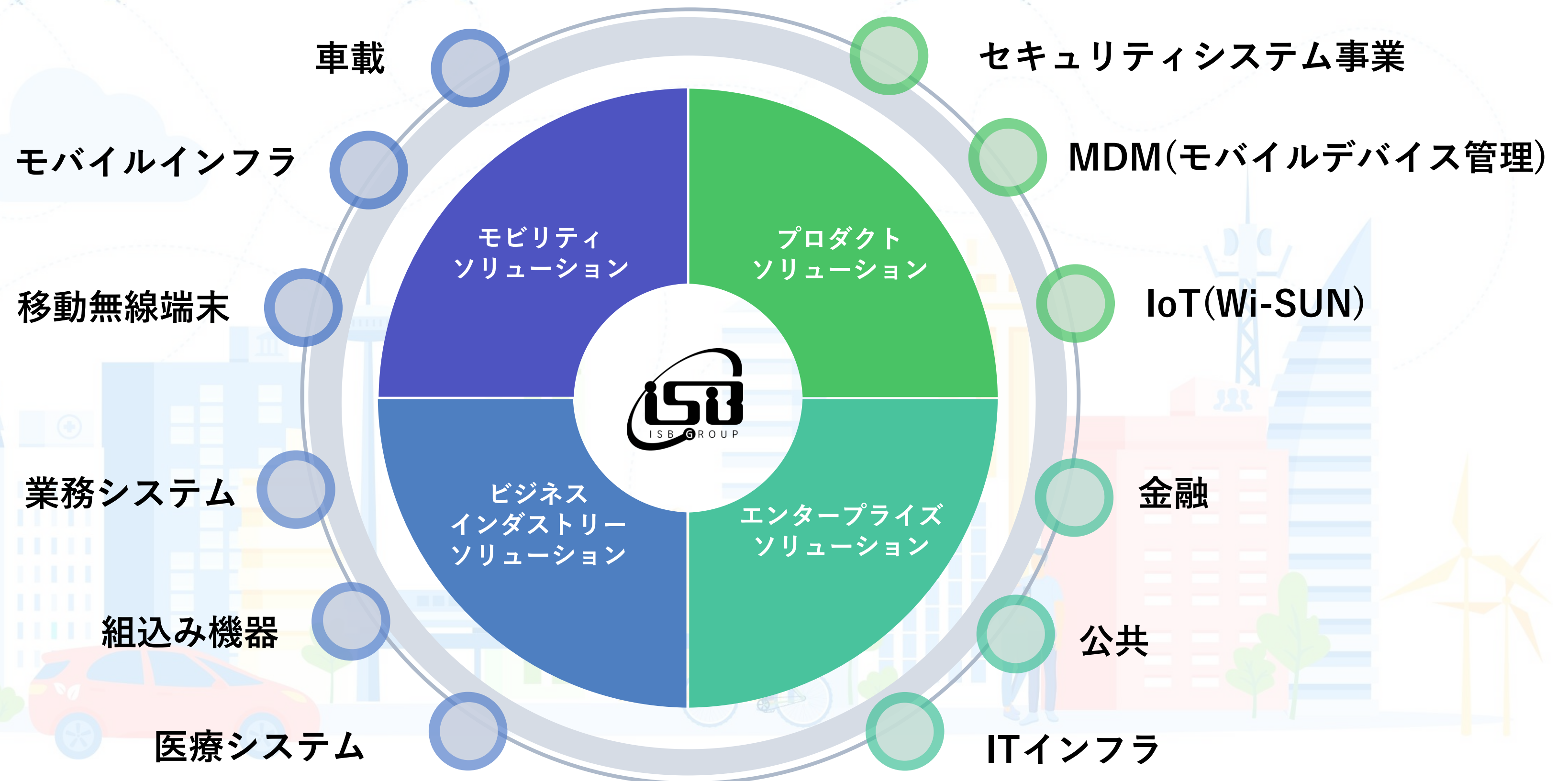
前年同期比増収、5億円の成長投資実行により減益。

(単位：百万円)

	2024年 2Q実績	2025年 2Q実績	増減	前年同期比
》売上高	8,142	8,727	585	107%
》営業利益	432	271	▲161	63%
》営業利益率	5.3%	3.1%	▲2.2pt	-
》経常利益	437	281	▲156	64%

ISBグループの事業領域

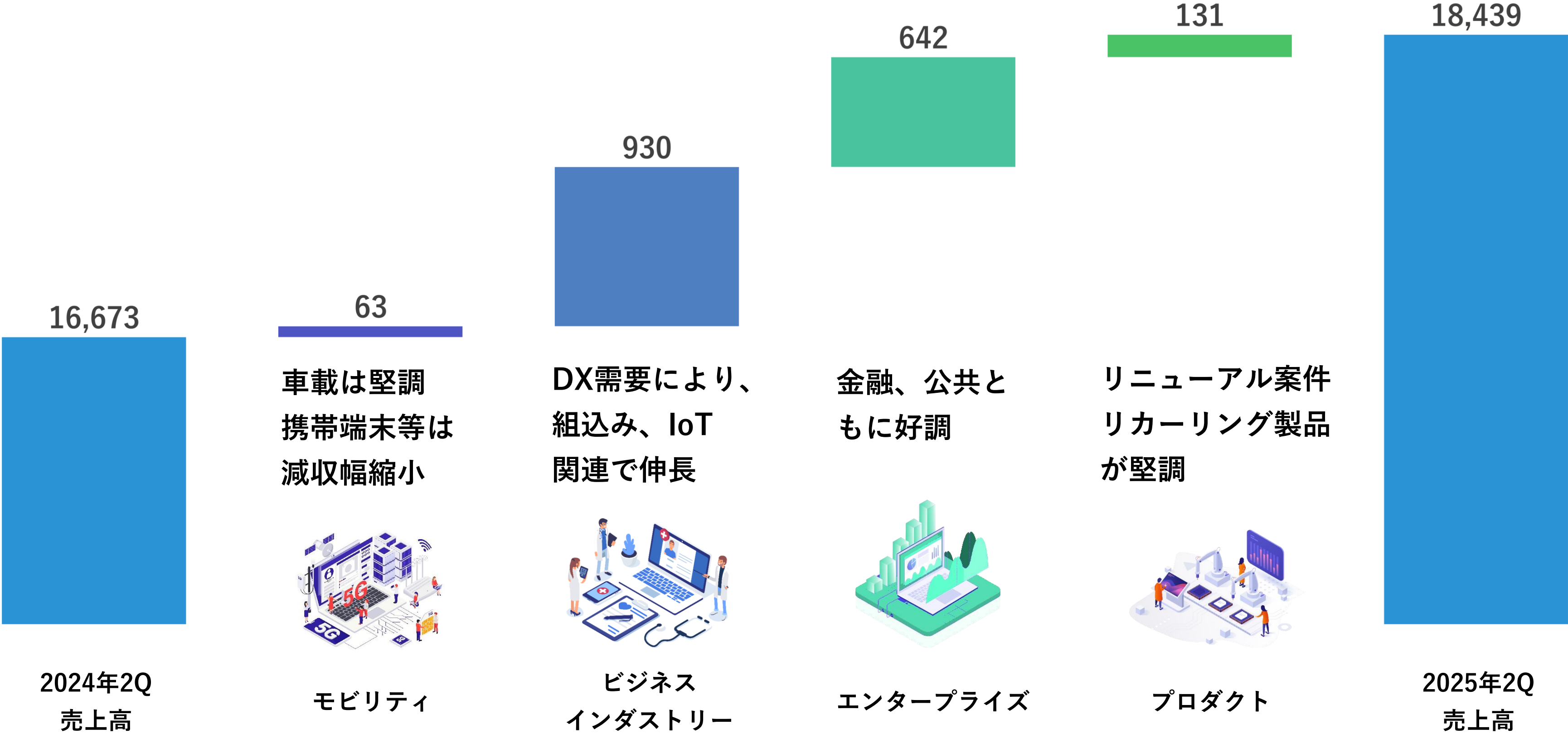
弊社グループは、多種多様な業界に向けて、多岐にわたる開発分野
さまざまな製品・サービスを提供する、幅広いビジネスフィールドが強みです。



連結売上高の増加要因

(単位：百万円)

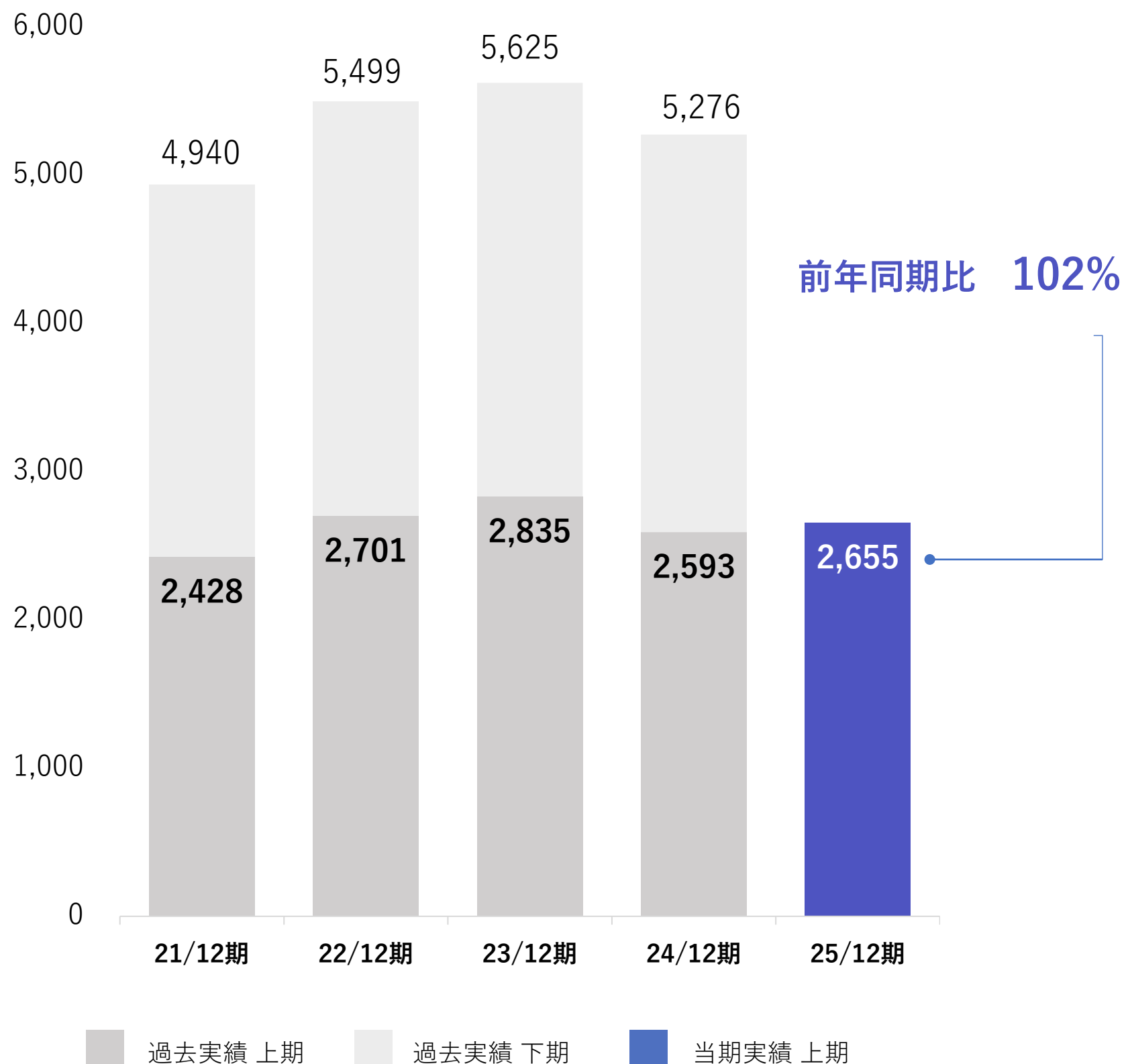
DX需要を背景にビジネスインダストリーが牽引



モビリティ領域 売上高の推移

モビリティ

(単位：百万円)



2025年 上期



車載

堅調

メーター系を中心に既存顧客の受注が漸増。



モバイルインフラ

縮小

5 G 関連は縮小幅が減少。
需要期のWi-SUN案件は堅調に推移。



移動無線端末

縮小

既存顧客の端末開発は、従来の縮小傾向に歯止めがかかる。

2025年 下期

車載

堅調

堅調なメーター系に加え
アウトカー等の領域拡大を狙う。
技術者の人員確保、育成に注力。

モバイルインフラ

横ばい

5G関連漸減もWi-SUNは堅調推移。
車載その他組込みへシフト継続。

移動無線端末

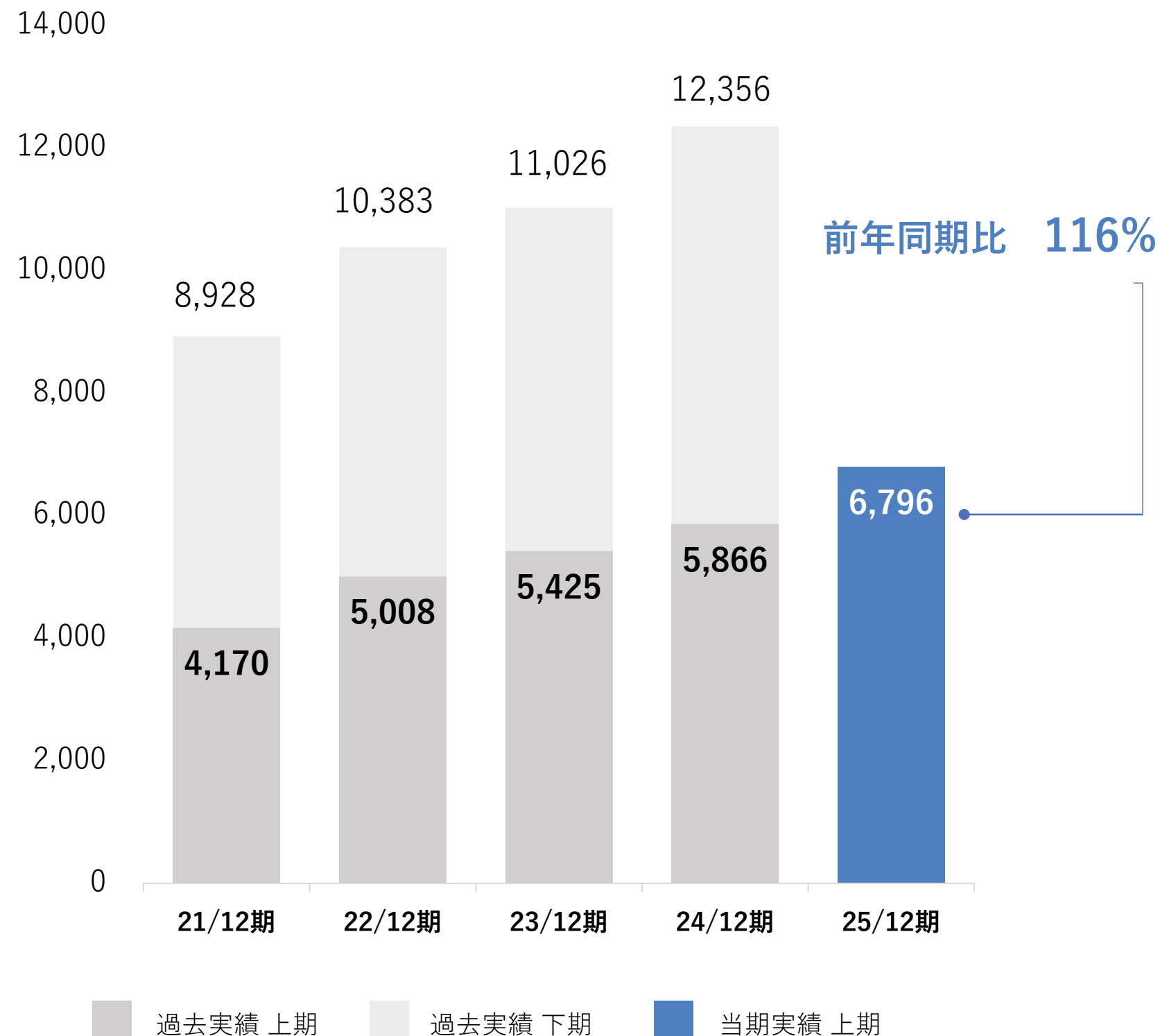
縮小

車載その他組込みへシフト継続。

ビジネスインダストリー領域 売上高の推移

ビジネスインダストリー

(単位：百万円)



2025年 上期

業務システム

好調

DX需要は引き続き旺盛。
既存顧客の大口案件受注
継続で堅調。

組込み機器

堅調

セキュリティ、医療、IoT系等
の案件が堅調に推移。
Wi-SUN案件、Qt活用案件
により漸増。

Qtは、Windows、macOS、Linux、Android、iOSといった複数のオペレーティングシステムで動作するソフトウェアを、共通のコードベースで効率的に開発できる。

<https://www.isb.co.jp/solutions/qt/>

2025年 下期

業務システム

好調

引き続き既存顧客の大口案件が
継続。
高い生産性の高品質PJの構築
による高収益の業務システム
開発案件を狙う。

組込み機器

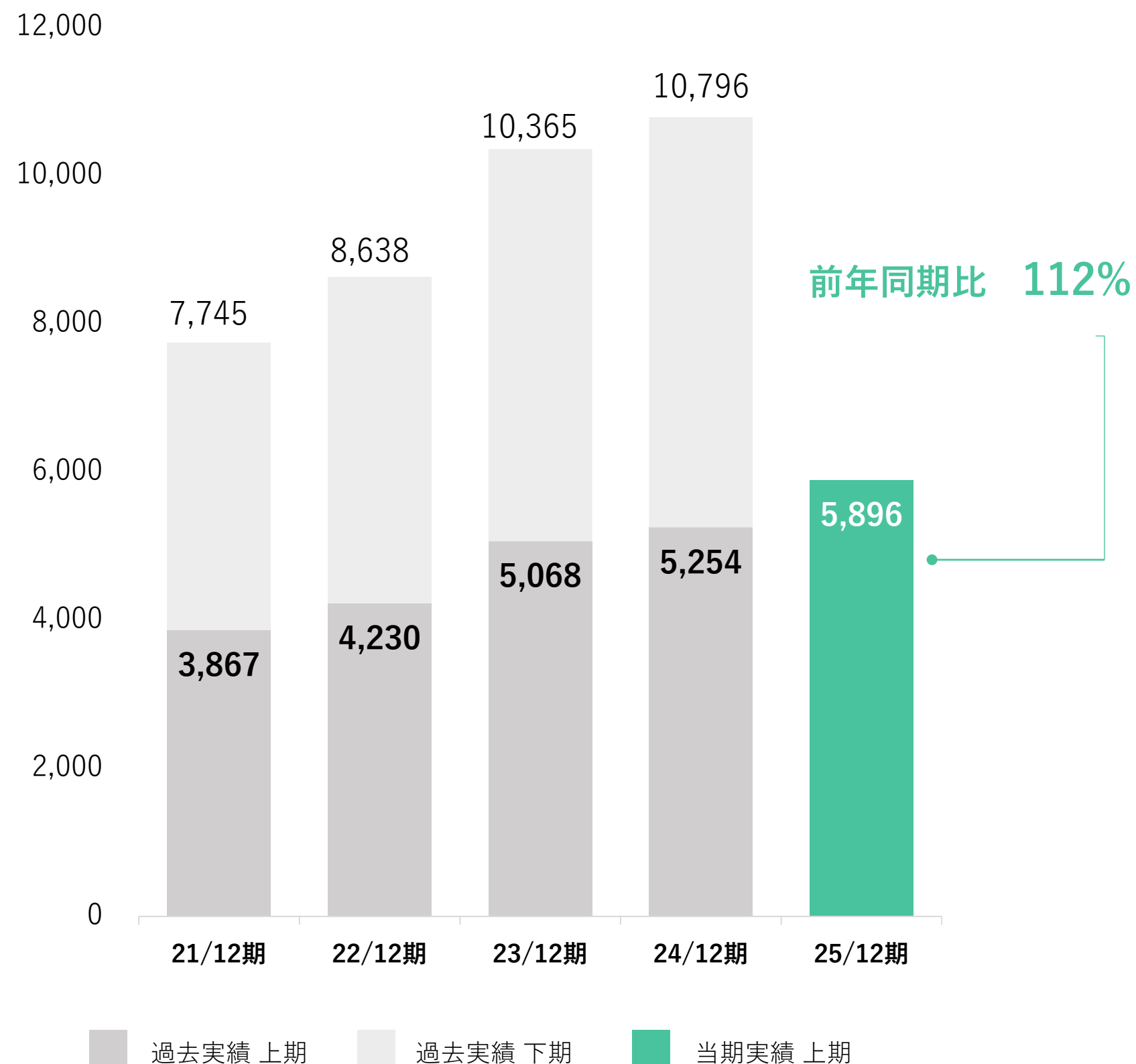
堅調

既存案件の継続拡大に注力。
人員確保、PJ管理の強化を推進。

エンタープライズ領域 売上高の推移

エンタープライズ

(単位：百万円)



2025年 上期



金融

好調

金融は証券系の顧客の
案件が好調。



公共

好調

地方自治体の標準化案件が
好調に推移。



ITインフラ

堅調

Windows 10サポート終了に
伴うOA環境移行案件が堅調。

2025年 下期

金融

好調

引き続き需要旺盛につき技術者
の確保に取り組み、受注拡大。

公共

好調

引き続き地方自治体の標準化案件を
推進。

ITインフラ

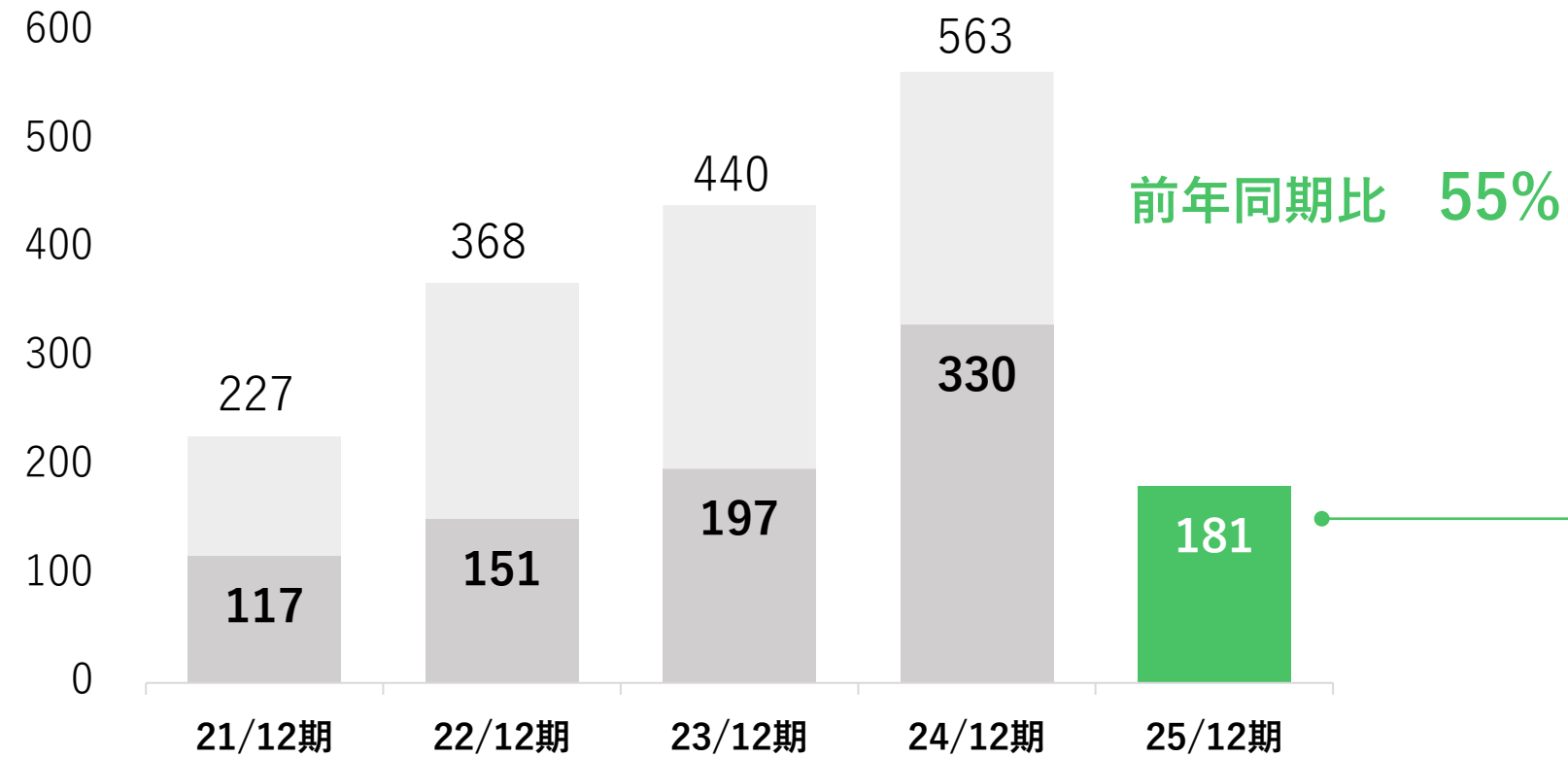
堅調

OA環境更新に伴うクラウドへの移
行案件の受注堅調。

プロダクト領域 売上高の推移

情報サービス事業 MDM・IoT

(単位：百万円)



情報サービス事業 MDM・IoT

減少

前期の大口機器販売等の反動で減収。FiT SDM/サイネージのプロダクトは新規獲得も一部解約で漸減。

2025年 下期

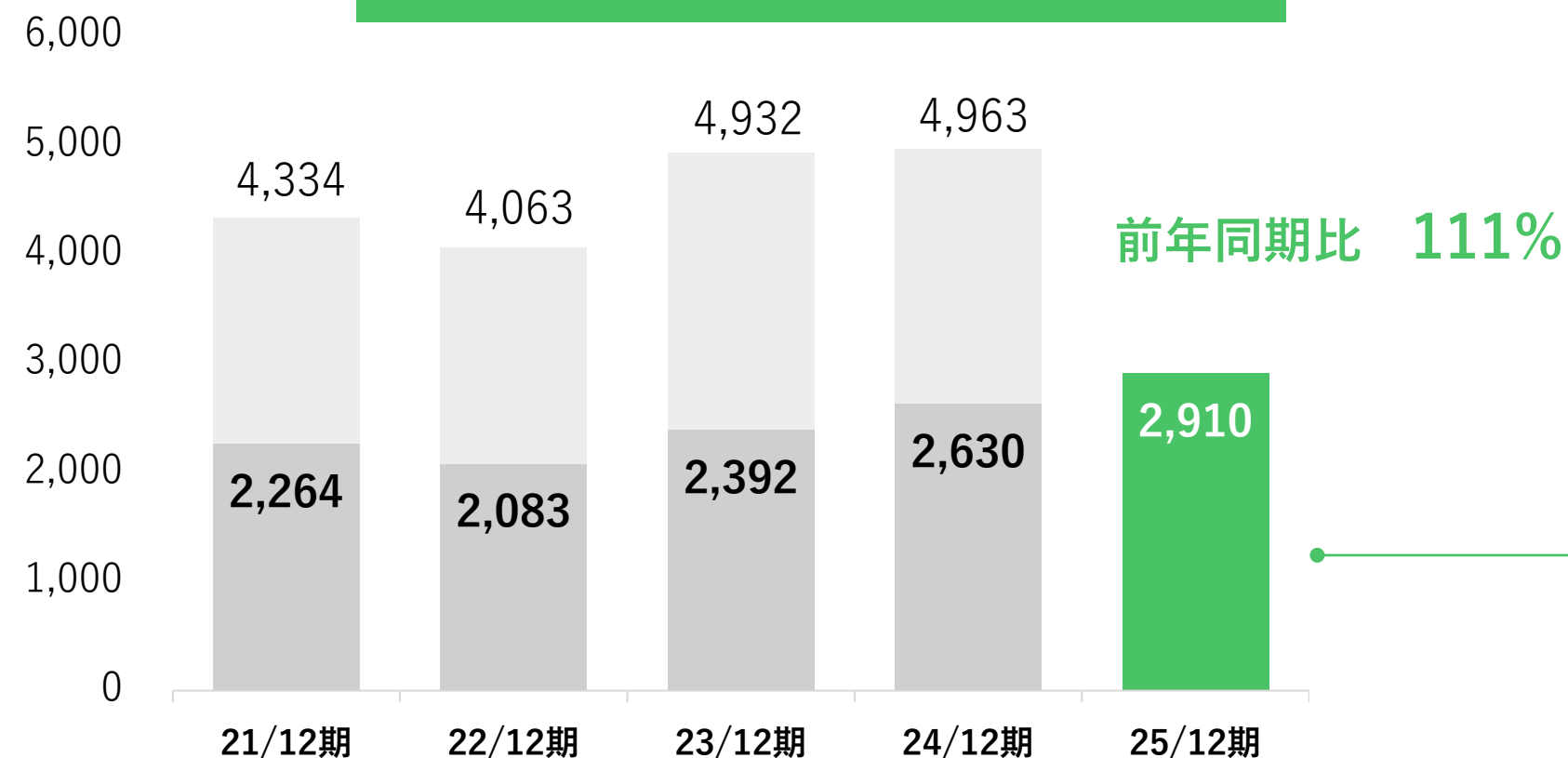
情報サービス事業 MDM・IoT

堅調

FiT SDM/FiTサイネージをドアノックに、新規顧客を開拓。顧客課題解決型のソリューション提案に注力。

(単位：百万円)

セキュリティシステム事業



セキュリティシステム事業

堅調

顔認証等の新デバイスがリニューアル案件獲得増に寄与。リカーリングも大口含め順調に契約数を伸ばし前年同期比大幅増。

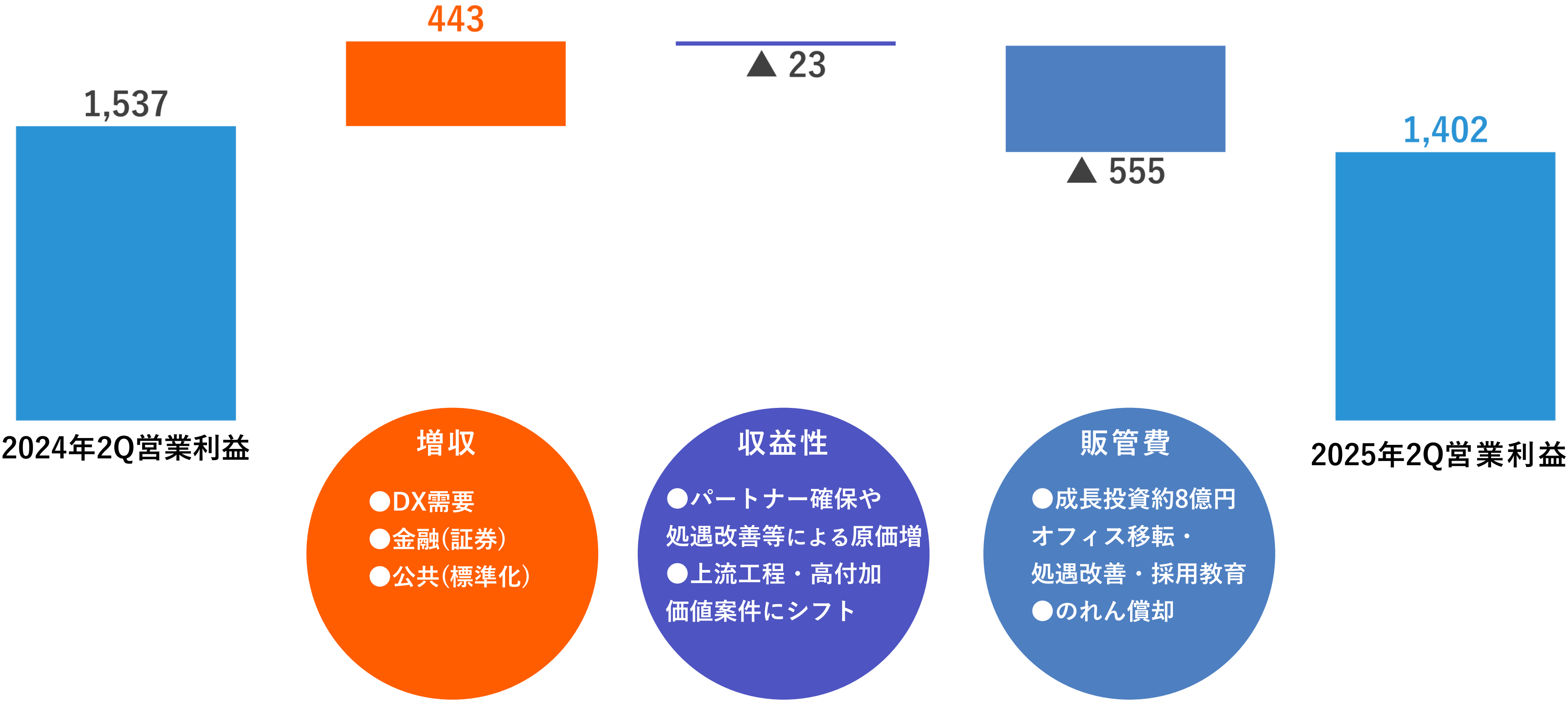
セキュリティシステム事業

堅調

新築・リニューアル共に上期の取組みを踏襲、堅調な推移を予想。リカーリングは大口見込み減るも引続き堅調な増加見込む。

連結営業利益の増減要因

(単位：百万円)



連結貸借対照表

● 資産の増加

本社移転関連、基幹システムの構築他により
約7億円増加

● 純資産の増加

増益による内部留保の積み上げで
2億円増加

● 自己資本比率

66.9%

(単位：百万円)

資産の部

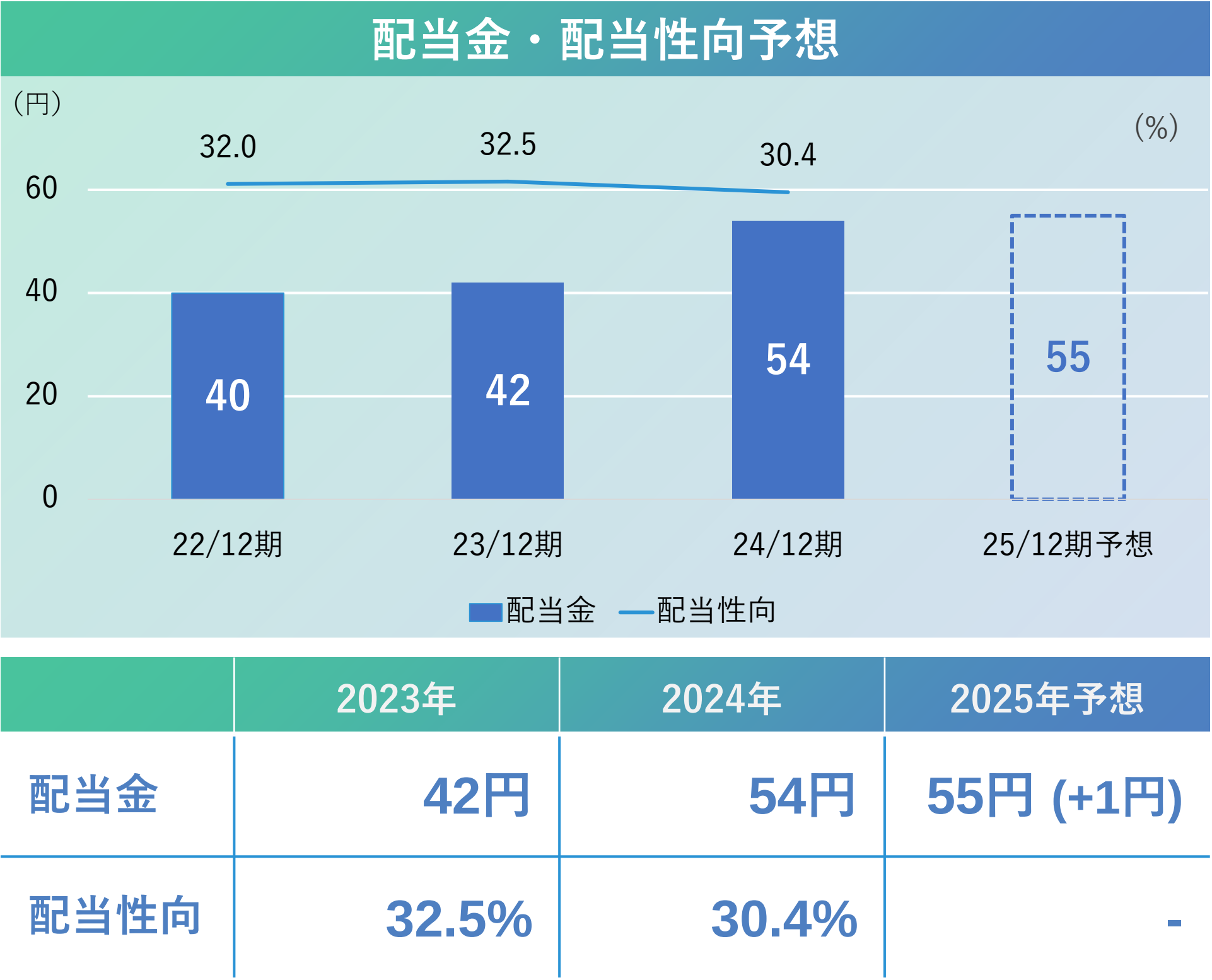
	2024年 12月期	2025年 12月期2Q
流動資産	16,257	16,018
固定資産	3,543	4,455
有形固定資産	1,033	1,979
無形固定資産	724	661
投資その他の資産	1,784	1,815
資産合計	19,800	20,474

負債・純資産

	2024年 12月期	2025年 12月期2Q
流動負債	5,785	5,969
固定負債	510	799
負債合計	6,296	6,769
株主資本	13,176	13,376
その他の包括利益累計額	327	328
純資産合計	13,504	13,704
負債・純資産合計	19,800	20,474

2025年12月期 連結業績・配当予想（上方修正）

業績予想（前回予想からの増減額）	
売上高	369 億円（+ 8.0億円）
営業利益	26.6 億円（+ 4.6億円）
経常利益	27.5 億円（+ 4.5億円）
親会社株主に帰属する 当期純利益	16.9 億円（+ 1.2億円）



連結ITエンジニア数も着実に漸増、前中計開始前の2020年度比で29%増加

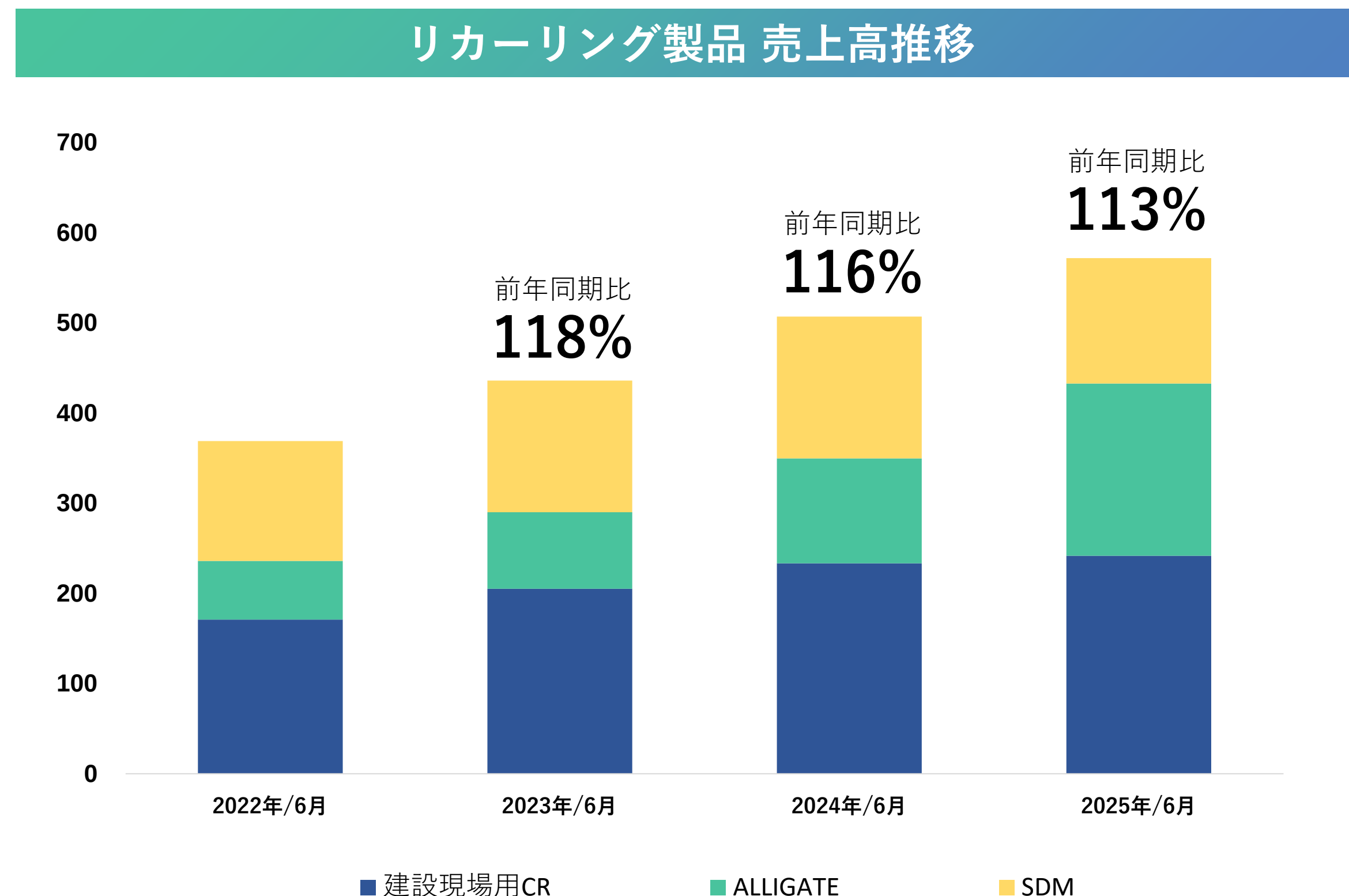


注：有期雇用を含む(ビジネスパートナーは除く)

リカーリング製品の収益

FiT SDM、ALLIGATE、Easy Passの3製品により、着実に増収

(単位：百万円)



FINANCIAL
RESULTS
BRIEFING

Part **1** ISBグループ概要

Part **2** 決算概要

Part **3** 中期経営計画2026の取組み

Part **4** 社会とともに成長する
ISBグループ

「永続する企業」へ Drive change to thrive

未来への成長投資を進め、事業基盤の強化とグループの強みである技術と多様な人材が持つ力を結集し、新たな成長を目指す。

2026年12月期 グループ目標

売上高

380
億円

営業利益

30
億円

成長投資
(3か年累計)

37.8
億円

重点戦略

1

人事戦略

ワークライフバランス実現のため、働き方改革を推進。
処遇改善、働く環境改善のほか教育制度の充実に取り組み、
スキル、モチベーション向上によりエンゲージメントを高める。

2

情報サービス
事業戦略

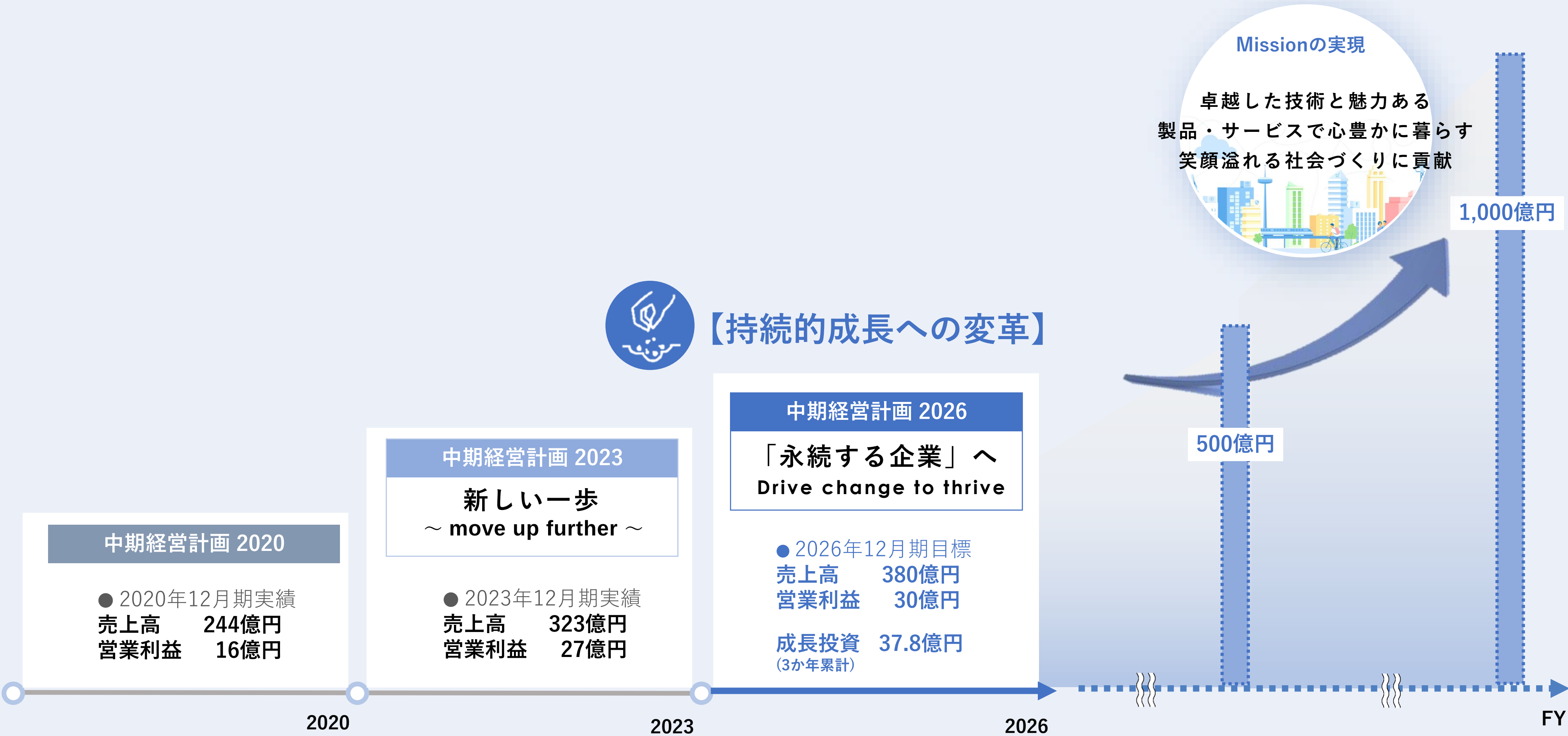
得意分野と地域性のグループシナジーを発揮し事業基盤を拡大。
プロダクト開発、プライムユーザー開拓、パートナー企業との
協業により、高収益化、多角的な成長を目指す。

3

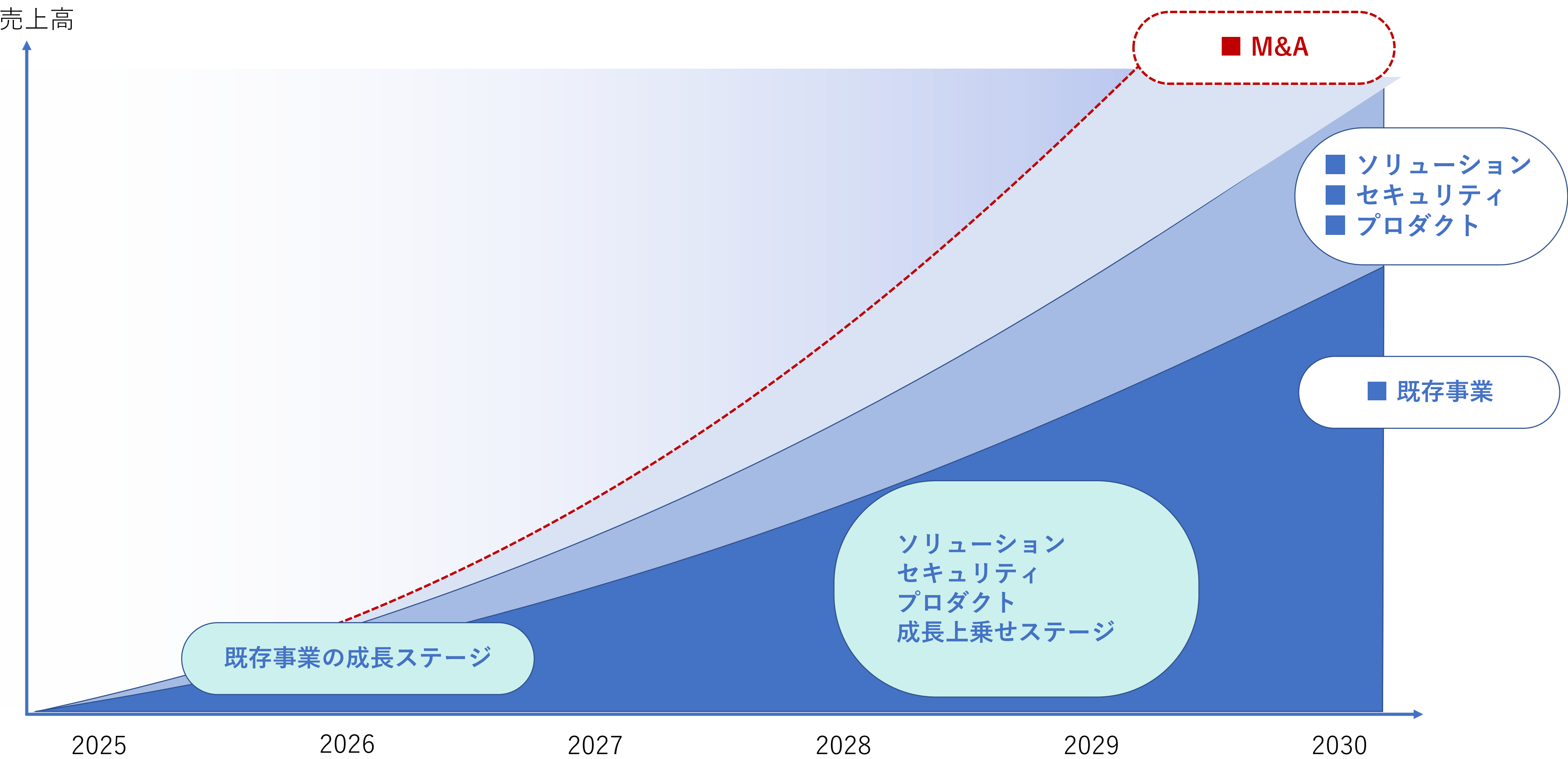
セキュリティシステム
事業戦略

入退出管理システムは営業強化と技術革新で収益を向上。
リカーリングビジネスは、ブランディング戦略を推進し、
新事業への取り組みにより事業ポートフォリオの充実を図る。

中期経営計画2026の位置づけ



中期経営フェーズ(2025～2030)



重点戦略1 人事戦略の取組み

2025年上期の取組み状況

	新卒採用	中途採用
①人材確保	✓ 採用人員の増員の計画、媒体の拡大 ✓ 採用活動におけるグループ連携(ノウハウの共有) ✓ 「2024年春入社国立高専生の就職先ランキング」で20位(全体194位中)にランクイン ✓ 「2026年卒 IT業界新卒就職人気企業ランキング」で33位(全体198位中)にランクイン	✓ 採用人員の増員増強 ✓ リファラル採用の実施 ✓ 採用活動におけるグループ連携
	働く環境の整備	育成/マネジメント
②人材育成	✓ 2025年5月にISB五反田・新横浜・我孫子の3拠点統合各グループ会社においても移転・増床を実施 ✓ 福利厚生の拡充（住宅手当の新設など） ✓ ベースアップ・賞与規定の改定等、処遇改善を実施	✓ 組織再編による管理職育成、マネジメント強化 ✓ 全社員に研修アカウント付与、能動的・継続的な教育 ✓ 帰属意識を高めるため、部署全体の帰社日設定による情報共有とコミュニケーションを推進 ✓ 2025年2月 AWSパートナー認定を取得 ✓ 人材育成促進のため人材開発課(人事部)を新設
	実施内容	今後
③エンゲージメント	✓ ISB社員に、エンゲージメントサーベイ実施、現状分析、施策策定、実行のPDCA	✓ 第2回目サーベイ実施計画(1回目2024年10月)

情報サービス 事業戦略

➤ アムニモ社と社会インフラ向けAIソリューションを提供

AI映像解析技術によるスマートシティの安全・効率化を実現

IoTとAIの最先端技術を駆使し、産業界や社会インフラ向けの革新的なサービスを展開する横河電機グループのアムニモ株式会社様の「AIパートナー」として当社は、以下のソリューションを提供。

1. 物体通過数計測ソリューション
2. 混雑量計測ソリューション
3. プライバシーを考慮した映像監視ソリューション

同社と共同開発したAI映像解析アプリケーションを搭載。

駅や商業施設における人流の正確な把握、物や車両の動きの計測を通じて、混雑状況を可視化し、作業効率の向上や最適な人員配置を支援。今後はスマートシティやインフラ、セキュリティ、物流など幅広い領域でのイノベーションに活用が期待。



 amnimo™



情報サービス 事業戦略

IoT：Wi-SUNの取組み

Wi-SUNアライアンスから表彰・認定 - 次世代電力網の標準化と発展に貢献 -

Wi-SUNアライアンスは、次世代電力網のスマートグリッドやスマートシティ、産業用IoTなど広範囲、低消費電力、高信頼性の無線通信に係る国際的な標準規格「Wi-SUN」の普及と発展を推進する業界団体。今般、同団体より以下受賞および認定。

- ・ Wi-SUNの仕様策定に貢献し「Recognition of Contribution」を表彰受賞
技術基準および相互接続性の要件を充足
- ・ 認証機器の評価基準に合格し「Certificated Test Bed Unit」を認定
認証を取得する他製品との相互接続確認を行う認証プロセスの中核

これらは、高い国際基準と市場の信頼を得るWi-SUNエコシステムの中で、当社がその発展を支える企業として評価。
既に次世代スマートメーターへの更新が取り組まれ、エネルギーインフラ分野における、持続可能な社会インフラの実現に貢献。



図1 IoTルートの利用イメージ

(図内の無線端末にWi-SUN enhanced HANが搭載され、電力スマートメーターと接続)

仕様策定 表彰



認証機器 認定



URL:<https://m2m.isb.co.jp/wisun/>

重点戦略2 情報サービス事業戦略の取組み

情報サービス 事業戦略

- 株式会社BookLive様
- 電子書籍ストアのアプリ開発

「ブックライブ」の快適な読書体験を技術で実現

少年マンガからビジネス書まで、100万冊以上の電子書籍を提供する国内トップクラスのサービス「ブックライブ」。運営元である株式会社BookLive様とは、2011年のサービス初期の段階から現在まで続く長期的なパートナーシップ。

スマートフォンのアプリ開発では、画面操作性の向上、快適な閲覧環境の実現のほか安定稼働を支える技術的サポートを提供。

企画から開発、運用までを一貫して支える体制を構築し、月間1,500万人以上が利用する大規模サービスを、技術面から支援。



成長投資



持続的成長の鍵

「人的投資」「IT投資」を実施

持続的
成長

Mission

卓越した技術と魅力ある製品・サービスで
心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりに貢献



成果
効果

エンゲージメントの向上

- ・専門性の高いスキル習得
- ・ワークライフバランス

事業基盤の強化

- ・生産性向上
- ・グループシナジー

ソリューション事業の創出

- ・パートナー企業と協業
- ・プロダクト開発

「持続的成長の
ための基盤づくり」

中期経営計画
2026

成長投資

37.8億円
(3か年累計)



人的投資



- ・教育制度
- ・制度改革
- ・処遇改善

IT投資



- ・IT投資
- ・コーポレート
ブランディング

前中計の
課題

人材面の課題

- ・技術者の確保、エンゲージメントの向上

マネジメント面の課題

- ・プロジェクト管理

成長投資

▶▶ 進捗状況

持続的成長の基盤づくりの成長投資
売上高500億円、将来の1,000億円へ
未来の成長のための先行投資は計画どおり



▲ ISB 新本社 エントランス



▲ 開放的なコミュニティ空間

		2024年 実績	2025年 計画	2025年 2Q進捗	2024-2026年 累計計画
合計		9.0億円	16.5億円	7.8億円	37.8億円
人的投資	採用・教育	0.7億円	2.8億円	1.0億円	5.3億円
	処遇改善	4.5億円	4.0億円	2.3億円	13.9億円
	オフィス環境	3.1億円	8.3億円	4.1億円	15.4億円
IT投資	IT	0.3億円	0.9億円	0.2億円	2.0億円
	その他	0.4億円	0.5億円	0.2億円	1.2億円

※成長投資金額は費用計上基準

知恵とITの融合により、 未来を切り拓く新たな価値を創造する 「永続する企業」へ

顧客企業の
最も重要な
パートナー

お客様を
下から支える

一般の皆様
に広く認知
される
会社

風通しが
良い
職場環境
元気な
会社

やりがい
があり
エンゲ
ージメント
が高い

チャレンジ
精神
がある

IoT関連機器
開発・販売
プラットフォーム
の提供

次世代通信
システム・
セキュリティ
製品を開発

グローバルに
展開・多国籍
企業との提携

M&A等の
資本提携
業務提携

社会課題に
取り組む

宇宙分野の
進出拡大

コンサル
ティングによる
ソリューション
強化

営業戦略を基に
先端技術を
開発・取り込む

1つひとつの事業が
特色を有する

ISBといえば
これという
製品やサービス

研究開発による
プロダクト開発

FINANCIAL
RESULTS
BRIEFING

Part **1** ISBグループ概要

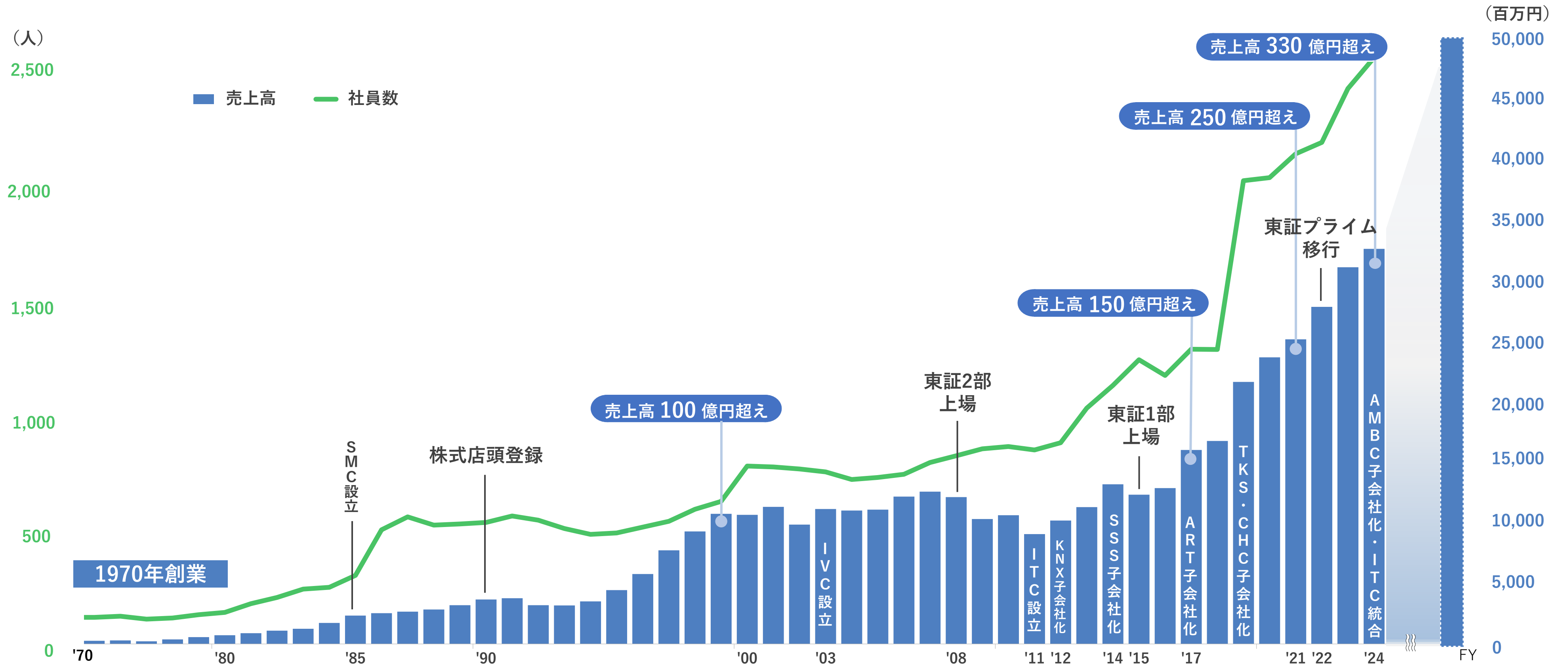
Part **2** 決算概要

Part **3** 中期経営計画2026の取組み

Part **4** 社会とともに成長する
ISBグループ

ISBグループ成長の歩み

安定した事業基盤と、戦略的なM&Aによる成長により、事業を拡大。



ISBグループ企業理念

夢を持って
夢に挑戦

Mission

私たちアイ・エス・ビーグループは
卓越した技術と魅力ある製品・
サービスで心豊かに暮らす
笑顔溢れる社会づくりに貢献します。

Vision

時代の変化に適応し
知恵とITの融合により
未来を切り拓く新たな価値を創造します。

Value

誇り 誠実 挑戦



本資料は、2025年12月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2025年6月末時点の状況において作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなくまた今後予告なしに変更されることがあります。